

9/21 学校が避難所になった場合に備えて

本川根中学校の生徒が避難所運営ゲーム (HUG) を体験しました



「避難者カード」を手に意見交換をする生徒たち

本川根中学校の総合的な学習の時間で、1, 2年生8名が、防災について学ぶ一環として、避難所運営ゲーム (HUG) に挑戦しました。

生徒たちは避難者の年齢や性別、国籍など、それぞれが抱える事情に配慮した適切な対応について、積極的に意見を交わしました。

指導した松本芳樹教諭は「4月から『防災』について学習を進めてきました。学校での避難所運営を平時から学ぶことで、災害時、どう行動すべきなのかを生徒自身が考える良い時間になった」と話しました。

心を込めた手料理をめしあがれ♪

10/7

興味のある方はおじさんキッチンに参加してみたい方はありますか

毎月、高齢者福祉課が主催する「おじさんキッチン」が生活改善センター（高郷区）で行われ、この日8名が参加しました。

腕を振ったのは町内の70歳以上の男性の皆さん。普段自宅では料理をしないと話しながらもこの日は、鮭のちらしずしや五目きんぴらなど3品を調理。同日開催されたケアラズカフェの利用者30名分のお弁当を丹精込めて作りました。

参加した大手利公さん（奥泉区）は「料理をしながら仲間たちとの会話を楽しんでいます。もっと大勢の人が参加して、交流の輪が広がれば」と期待を込めて話しました。



きれいな盛り付けにもこだわりがあります

10/9 軽妙なおはやしに合わせて舞う

江戸時代から伝わるとされる「徳山神楽」が奉納されました



厳かな雰囲気の中「神前の舞」を披露

県指定無形民俗文化財の徳山神楽が徳山神社で奉納されました。徳山神楽は安倍川や大井川流域に伝承される「駿河神楽」のひとつとされ、無病息災や五穀豊穡を祈願し、今年は5種類の神楽が奉納されました。

この日、女子中学生が巫女姿で華麗に舞う「四座の舞」「五躰龍の舞」や、徳山古典芸能保存会の会員による「神饌の舞」「大弓の舞」などが披露されました。軽妙なおはやしの音色に合わせて演じる舞い手に、訪れた見物客から大きな拍手が送られました。

10/9 子どもたちの笑顔があふれた運動会

町内の保育園や小学校で秋の運動会が開催されました

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた運動会が、町内各地で開催されました。各会場では、来場者に手指の消毒や検温を促すなど、感染予防策が徹底されていました。

桜保育園では、音楽に合わせて園児たちが入場すると、保護者たちは、その緊張した様子に、ほぼ笑みながら温かい拍手を送っていました。

中央小学校では、全校児童による「ソーラン節」が披露され、勇壮に舞い踊る姿を、保護者たちは笑顔で見守っていました。最終種目の「リレー競走」では、全学年混合で行われ、上級生からバトンを渡された下級生が、一生懸命に走る姿がとても印象的でした。

中央小学校6年生で運動会の実行委員を務めた露木虎士郎さん(上長尾区)は「小学校最後の運動会。下級生と力を合わせてやり遂げることができてうれしい。自分で立てた目標も達成することができて、悔いが残らない運動会になった」と振り返りました。



1. 2 「よーいどん！」で駆け出す園児 3. あわや失敗寸前。何とかバトンパスが成功 4. 練習を重ねてきたソーラン節を踊る児童

10/14 色が持つ不思議なパワーを体感

60歳以上の女性（町内在住）が対象の「むつみ学級」を開催



「色」を服装に取り入れる工夫を教える中神さん(右)

社会教育課が主催するむつみ学級の学習会が山村開発センターで開催されました。

第2回目のテーマは「生活を豊かにするためのカラーセラピー生活術」。参加者は塗り絵を通して、自分の精神状態を診断したり、日常生活に取り入れるべき色について教わったりしていました。

講師を務めたカラーアドバイザーの中神志緒里さん(徳山区)は「気分を変えたいときは、普段は身に付けない色を思い切って選んでほしい。小さなきっかけが、豊かで健康的な生活につながっていきます」と笑顔で呼び掛けていました。